

## 文庫めぐり

(3)

## 無窮会神習文庫

〔来歴〕 神習文庫の名は、旧蔵省・井上頼因(二八五三〜一九一四、平田鉄胤・権田直助門の国学者)の号・神習舎に因む。井上の死後、五万五千冊に上る蔵書が売却されるに当り、平沼騏一郎(一八六七〜一九五二)ら有志がこれを購求し、その永続的な保存と東洋文化の研究を目的とする機関として設立したのが、無窮会である。その後、同会関係者の蔵書の寄贈・購入が続き、蔵書は現在、二十五万冊以上に上る。井上頼因以外の主な旧蔵者は次の通り。確齋織田小確、天淵加藤虎之亮、真軒三宅少太郎、槃山川合孝太郎、機外平沼騏一郎、遠湖内田周平、学軒吉田増蔵、不先齋上野賢知、天行松平康国、藻洲牧野謙次郎、刀水渡辺金造ら。昭和四十一年十二月に、新宿区西大久保一丁目から町田市玉川学園に移転し、現在に至っている。

〔概要〕 国学系の和書と経学系の漢籍の宝庫たる無窮会蔵書に、医書が占める割合は高くない(1%内外か)。そのうち神習文庫には医書・本草書を合わせると九〇〇部以上が含まれ、無窮会医書の中核である。ほとんどが幕末から明治前半にかけての和書だが、愛書家ならではの良質の収集である。井上の師である権田直助の「皇国医方」系の書籍

が揃っているのは当然だが、その他に目につくものを挙例すれば、田沢仲舒・奈須恒徳・藍川玄慎の自筆本が散見するのが珍しい。その他『平沼文庫蔵書目録第二輯』は、医書・本草書を二〇〇点足らず収め、かつ『国書総目録』未収であるため、一覽の必要がある。

〔蔵書目録〕 『神習文庫図書目録』(名著出版、一四〇〇〇円)、『織田文庫図書目録』(汲古書院、七〇〇〇円)、『平沼文庫蔵書目録第一輯(川合槃山旧蔵書)』(汲古書院、二〇〇〇円)、『平沼文庫蔵書目録第二輯』(汲古書院、四〇〇〇円)、『天淵文庫蔵書目録』(汲古書院、二〇〇〇円)以上、各出版社にて購入可。『真軒先生旧蔵書目録』。

〔所在地〕 〒194-0041 東京都町田市玉川学園八―六―一三、電話(〇四二七)二五―九七八六。

〔利用資格〕 無窮会会員のみ。年会費三〇〇〇円(機関誌「東洋文化」年三回配付)。当日申込可。

〔開館日時〕 毎日曜日の正午から午後四時まで。但し年末年始の各一回、及び十一月第二日曜を除く。

〔文献複写〕 マイクロフィルムからの焼付に限る。年一〇冊以内。全冊撮影は一冊につき一〇〇〇円を納入。一〇冊以上は更に三〇〇〇円を納入。

(町 泉寿郎)